

小鹿田焼の里景観形成重点地区に係る届出対象行為及び景観形成基準の変更について（概要）

1. 日田市景観計画とは

景観法第8条の規定に基づき、景観行政団体である日田市が、良好な景観を形成するための目的や方針、必要な行為の制限の基準を定めたものです。

本市は、豊かな自然環境景観や歴史的・文化的景観を基調とした美しい景観が特徴であり、市内の6地域（日田・前津江・中津江・上津江・大山・天瀬）をまたがるように山林地や河川、道路交通網が通じており、一体的に良好な景観の形成・保全を図る必要があることから、市全域を景観計画区域に定めています。

2. 景観形成重点地区とは

(1) 景観特性に応じた区分

市域の6地域は、それぞれが持つ豊かな地域資源により、独自の景観特性を有しており、合併によって行政区域は一体となりましたが、実効性の高い景観形成を図るためには、地域の特性をふまえたきめ細かい対応が必要となります。

そのため、「日田市景観計画」では、景観計画区域内の景観特性に応じて区分（ゾーン）を設定し、各景観区分にふさわしい良好な景観形成の方針を設定します。

(2) 景観形成重点地区とは

景観形成重点地区は、良好な景観を保全・形成するために指定した特定の地区（区分の内の一つ）です。これらの地区では、住民との合意形成によって、建築物等の外観に関する修理・修景基準や景観に関するガイドラインが定められるなど主体的な取組が進められており、豆田地区、日田バイパス周辺地区、隈地区、小鹿田焼の里の4地区となっています。

3. 良好な景観形成のための行為の制限

本市では、前述のとおり、「日田市景観計画」の景観計画区域内に景観形成重点地区を設定するとともに、良好な景観形成を図るため、建築物等の建築行為がある場合、届出の対象となる物件について、届出内容が景観形成基準に適合しているかどうか審査し、必要に応じて、指導・助言等を行うこととしています。

→ 届出対象行為及び景観形成基準の設定

4. 小鹿田焼の里景観形成重点地区の概要

(1) 景観特性

水、土、木等の資源を活かした窯業や農業といった伝統生業が現在も続いている地区で、平成20年には、「重要文化的景観」として国の選定を受けた地区でもあります。
※重要文化的景観＝文化財の種別の一つ。歴史や風土の中で、地域の人々の生業や暮らしによって形成された景観のうち、特に重要な文化的価値を持つものとして国の選定を受けたものを指します。（棚田、里山、漁港、牧野など）

(2) 景観形成の方針

自然と共生する中で育まれた「ものづくりの心」と「小鹿田焼の持つ伝統的様式の継承」によって特色ある集落景観を維持してきた地域であり、豊かな里山の資源と人々の営みが一体となって地域特有の景観を創出していることから、陶郷の原風景をもとめ、里と里山景観の美しさを次世代へ伝えるため、「小鹿田焼の里」を支えている重要な資源としての水と緑を守り育て、人と自然が共生する特色ある景観の維持・形成、またさらなる地域づくりや交流拠点としての発展と維持を図ります。

5. 小鹿田焼の里景観形成重点地区における課題と対応

(1) 課題

小鹿田焼の里において、住民が行う建築行為に対する誤った認識に基づく指導により、施主が希望する施工とならない事例が発生する等、現行の届出対象や規模、景観形成基準などが、住民の生業や暮らしの妨げとなっていることから、文化財保護と生業、暮らしの両立を目指し、妨げとなっている規制を見直す必要が生じています。

(2) 対応

規制の見直しにあたっては、地域住民の生業、暮らしの存続・維持に視点を置いた制度運用に改めること、窯業や農業などの地域の個性及び特色を形成する行為については、規制の対象から外すこととしました。

→ 届出対象行為及び景観形成基準の見直し（別紙のとおり）



（池ノ鶴地区）



（皿山地区）

●日田市景観条例第7条第5項の規定に基づき、小鹿田焼の里景観形成重点地区に係る「届出対象行為」及び「景観形成基準」を変更する。

【別紙】

【変更前】

(届出対象行為)

区 分		規 模
建築物の新築、増改築若しくは移転又は外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え		建築面積が10平方メートルを超えるもの
建築物の色彩の変更		道路に面する外観又は建築物の全体外観の1／2
工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更	煙突、排気塔 その他これらに類するもの	高さ3メートルを超えるもの
	コンクリート柱、鉄柱、木柱 その他これらに類するもの	高さ8メートルを超えるもの
	擁壁、垣、さく、門、堀 その他これらに類するもの	高さ1.5メートルかつ延べ長さが5メートルを超えるもの
土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更		当該行為に伴い生ずるのり面又は擁壁の高さが1.5メートルを超えるもの
木竹の植栽又は伐採		高さが5メートル若しくは地上1.5メートルの位置における幹の首位が50センチメートルの木竹又は生垣で延べ長さが5メートルを超えるもの
屋外における物件の堆積		堆積する期間が90日間

【変更後】

(案)

(届出対象行為)

区 分		規 模
建築物の新築、増改築若しくは移転又は、大規模な修繕若しくは模様替え又は色彩の変更		延べ面積が230平方メートルを超えるもの
工作物の新設、増築、改築若しくは移転、外観を変更することとなる修繕若しくは模様替え又は色彩の変更	コンクリート柱、鉄柱、木柱その他これらに類するもの	高さ8メートルを超えるもの
	広告物その他これらに類するもの	高さ2メートルを超えるもの又は表面積の1面が1平方メートルを超えるもの

ただし、窯業（小鹿田焼に限る）及び農業（田畑の耕作に限る）の生業に関わる、生産、販売、展示等を目的とした建築物・工作物は対象外とする。（販売、展示については、小鹿田焼協同組合の同意を得た場合に限る。）

【変更前】日田市景観計画

(届出対象行為一覧表)

	対象行為	対象規模	景観形成重点地区			
			豆田地区	周辺 日田バイパス	限地区	小鹿田焼の里
建 築 物	新築、増築、改築 移転、大規模な 修繕若しくは 模様替え	(規模に関係なく)	●	●	●	
		建築面積が 10 平方メートルを超えるもの				●
	除却	(規模に関係なく)	●	●	●	
	外観の 色彩の変更	道路に面する外観、又は 建築物の全体外観の過半を超えるもの	●	●	●	●
建 築 物 以 外 の 工 作 物	擁壁、垣、さく、門、塀 その他これらに類するもの の場合	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は 延べ長さが 5 メートルを超えるもの	●	●	●	●
	煙突、排気塔その他これらに 類するものの場合	高さが 3 メートルを超えるもの	●	●	●	●
	コンクリート柱、鉄柱 木柱その他これらに類する もの場合	高さが 8 メートルを超えるもの	●	●	●	●
	広告塔、広告板、装飾塔 記念塔、ネオンサイン その他これらに類するもの の場合	高さが 2 メートルを超えるもの、又は 表面積の 1 面が 1 平方メートルを 超えるもの	●	●	●	
	高架水槽、サイロ、物見塔 石油タンク、ガスタンク その他これらに類するもの	高さが 8 メートルを超えるもの	●	●	●	
	ゴルフ練習場、アスファルト プラント、コンクリートプラ ント、クラッシャープラント その他これらに類するもの (用途地域内においては面積 による適用の除外はない。)	築造面積が 50 平方メートルを超えるもの	●	●	●	
	立体駐車場	敷地面積が 3,000 平方メートル以上のもの	●	●	●	
	仮設、又は 地下に設ける工作物	築造規模の変更 若しくは 外観の変更	●	●	●	
	宅地、その他の土地	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は のりを生ずる切土又は盛土を伴うもの	●	●	●	●
	木竹・生垣	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は のりを生ずる切土又は盛土を伴うもの	●	●	●	●
	自動販売機	設置	●	●	●	
	土石の類、鉱物	当該行為に伴い生ずるのり面 又は、擁壁の高さが 1.5 メートル				●
	物 件	集積・堆積 貯蔵				●
	その他市長が認める行為	規模に関係なく	●	●	●	●

【変更後】日田市景観計画

(案)

(届出対象行為一覧表)

	対象行為	対象規模	景観形成重点地区			
			豆田地区	周辺 日田バイパス	限地区	小鹿田焼の里
建 築 物	新築、増築、改築 移転、大規模な修 繕若しくは 模様替え	(規模に関係なく)	●	●	●	
	新築、増改築若し くは移転又は 大規模な修繕若 しくは模様替え 又は色彩の変更	延べ面積が 230 平方メートルを超えるもの				● ※
	除却	(規模に関係なく)	●	●	●	
	外観の 色彩の変更	道路に面する外観、又は 建築物の全体外観の過半を超えるもの	●	●	●	
建 築 物 以 外 の 工 作 物	擁壁、垣、さく、門、塀 その他これらに類するもの の場合	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は 延べ長さが 5 メートルを超えるもの	●	●	●	
	煙突、排気塔その他これらに 類するものの場合	高さが 3 メートルを超えるもの	●	●	●	
	コンクリート柱、鉄柱 木柱その他これらに類する もの場合	高さが 8 メートルを超えるもの	●	●	●	● ※
	広告塔、広告板、装飾塔 記念塔、ネオンサイン その他これらに類するもの の場合	高さが 2 メートルを超えるもの、又は 表面積の 1 面が 1 平方メートルを 超えるもの	●	●	●	● ※
	高架水槽、サイロ、物見塔 石油タンク、ガスタンク その他これらに類するもの	高さが 8 メートルを超えるもの	●	●	●	
	ゴルフ練習場、アスファルト プラント、コンクリートプラ ント、クラッシャープラント その他これらに類するもの (用途地域内においては面積 による適用の除外はない。)	築造面積が 50 平方メートルを超えるもの	●	●	●	
	立体駐車場	敷地面積が 3,000 平方メートル以上のもの	●	●	●	
	仮設、又は 地下に設ける工作物	築造規模の変更 若しくは 外観の変更	●	●	●	
	宅地、その他の土地	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は のりを生ずる切土又は盛土を伴うもの	●	●	●	
	木竹・生垣	高さが 1.5 メートルを超えるもの、又は のりを生ずる切土又は盛土を伴うもの	●	●	●	
	自動販売機	設置	●	●	●	
	その他市長が認める行為	規模に関係なく	●	●	●	●

※ただし、窯業（小鹿田焼に限る）及び農業（田畑の耕作に限る）の生業に関わる住民、生産、販売、展示等を目的とした建築物・工作物等は対象外とする。（販売、展示については小鹿田焼協同組合の同意を得た場合に限り）

【変更前】日田市景観計画

(景観形成基準)				
項目	指 針	基 準		
		集落景観区域	山林景観区域	
建 築 物 新築、増築 改築若しくは 移転、外観を 変更することと なる修繕、模様 替え若しくは 色彩の変更	主屋・付属屋等 配慮は敷地の履歴を考慮したものとする 皿山・池ノ鶴地区の伝統的様式 (配置、構造等)に則ったものとする (内部居住空間は自由)	配 置	敷地の履歴を考慮したものとし、「ツボ」と 称する前庭を設ける	基準は 特に 設けない
		階 数	地上2階建て以下とする	
		梁 間	2階小屋梁間は3間程度以下を基本とする	
		屋 根	切妻造り又は入母屋造りとし、材料は和型 瓦葺を基本とする 勾配は4.5/10から6/10程度、軒の出は3尺 ケラバは2尺程度を基本とする（土蔵の場合 は勾配6/10程度、軒の出は2.5尺、ケラバ は2尺程度を基本とする）	
		外 壁	中塗り仕上げ調、漆喰仕上げ調、又は板張り 調とする。但し、付属屋は景観に調和した ものとする	
		意 匠	皿山・池の鶴地区の伝統的様式を尊重する	
	建築設置	道路からの景観を考慮して配置し、目隠し 及び緑化等の工夫をする	配 置	道路から見えない場所への設置を基本とする が、やむを得ない場合は目隠しの工夫をする
	門・塀・生垣	門・塀は基本的に設けないものとし、やむを 得ず設ける場合は景観に配慮する	門・塀	基本的に設けないものとするが、やむを得ず 設ける場合は景観に調和させる
	簡易な小屋等 (※2)	自然素材等を使用した屋根とし、素材な造作と する	生 垣	低木を基本とする
	材 料	軸組材に丸木・転用材等、屋根材には自然素材等を使用し、 素材な造作を基本とする。(防災上やむを得ない場合を除く)	工 法	
梁 間	登り窯上屋等で梁間を大規模とする場合は景観に配慮した ものとし、小鹿田焼窯元同業組合の同意を得る。			
色彩は、自然素材の場合は素材を基本とし、その他の場合は概ね 彩度4以下の低彩度色とする		色彩は、自然素材の場合は素材を基本とし、その他の場合は概ね 彩度4以下の低彩度色とする		
工 作 物 (※1) 新設、増築 改築若しくは 移転、外観を 変更することと なる修繕、模様 替え若しくは 色彩の変更	窯	様式及び配置は履歴を考慮したものとする	伝統的様式とする。 登り窯を個人で新設する場合は小鹿田焼元同業組合と協議する。	
	鉄塔等	送電鉄塔、電波鉄塔等については必要 最小限とする	高さ等、景観に配慮する	
	各種工作物	砂防ダム・橋梁・道路・河川等の公共工事 で建設されるものにおいては、景観に配慮 したものとする 煙突、柱、高架水槽その他これらに類する ものにおいてはこの限りでない	景観に配慮する	
	擁壁、水路 河川護岸 棚田法面等	石積を基本とし、景観に配慮したものとする 道路と敷地の段差法面は、石積を基本とする 公共工事で建設されるものについては、景観に 配慮したものとする	やむを得ずコンクリート等とする場合は緑化等により景観に配慮する 棚田法面は伝統工法による石積を基本とする	
	自動販売機	公共等による計画的なもの以外、新たに設置 しない	屋外には設置する	
	その他 (ガードレール等)	公共工事で建設されるものについては、景観に 配慮したものとする	景観に配慮する	
	色彩は、自然素材の場合は素材を基本とし、その他の場合は概ね 彩度4以下の低彩度色とする		色彩は、自然素材の場合は素材を基本とし、その他の場合は概ね 彩度4以下の低彩度色とする	
	土石の採取、 鉱物の掘採、 その他の土地 の形質の変更	土地の形状変更	農林業・窯業目的以外の土地の形質の変更 は原則行わない 駐車場は公共等による計画的なもの以外は 新たに設置しない	田畑10㎡以上4ヘクタール未満の転用を行う場合は届出が必要
		土石の採取又は鉱 物の掘採	農林業・窯業・泉源目的以外の土石の採取 又は、鉱物の掘採は原則行わない	小鹿田焼窯元同業組合の組織単位で計画的に行う やむを得ない場合は小鹿田焼窯元同業組合の同意を得る
	木竹の植栽 又は伐採	適地適木を基本とし、可能な場合等では広葉樹への樹種転換をする 窯業に関わる松の植樹を奨励する 森林の立木伐採においては地域森林計画に基づいて行う	松くい虫に耐性のある松の植樹を検討する 計画区域内の文化的景観地については、里山の保全のため更新時には 広葉樹を基本とする	
屋外における 物件の堆積	農林業・窯業目的以外のものの堆積は行わない		やむを得ない場合は道路などから見えない場所を選び、道路から出来る だけ離し、高さを低くするなど、景観に配慮する 採取した陶土の保管は各窯元において小屋（陶土置場）などに蓄積する	
備 考	(※1) 景観法には工作物の定義がなされていない為、下記のように整理する 「工作物」：電柱、電波塔、広告物・道路案内板、自動販売機、ガードレール、河川擁壁、砂防ダム、河川堰、河川橋梁、棚田法面、 宅地の擁壁石積や、公共工事で建設されるあらゆる人工物をさす。また、高さが低く、建築物に該当しない小屋等も含む。 (ただし、広告物については、大分県屋外広告条例に則って対応する) (※2)「簡易な小屋等」：登り窯上屋、唐白小屋、陶土置場、焚物小屋、炭焼付属屋、農作業用小屋、その他倉庫等をさす。			

【変更後】日田市景観計画

(案)

(景観形成基準)

項 目		基 準
建築物		屋根及び外壁の色彩は、景観に配慮する。
工作物	コンクリート柱、鉄柱等 (送電柱、電波塔等)	必要最小限とし、景観に配慮する。
	各種工作物	砂防、治山、道路、河川護岸等公共工事で建設するもの は、防災・減災等の機能を確保した上で、景観に配慮す る。
	広告物等	ネオン、回転灯、点滅等の装飾はせず、景観に配慮する。

ただし、窯業（小鹿田焼に限る）及び農業（田畑の耕作に限る）の生業に関わる住居、生産、販売、
展示等を目的とした建築物・工作物等は対象外とする。（販売、展示については小鹿田焼協同組合の同意
を得た場合に限る）

また、市長が本基準を採用することが適当でないと認める場合は、小鹿田焼の里景観委員会の意見を
聴き、これによらないことができる。

景観に配慮するとは、建築物等や工作物等を設置する場所の両隣や向かい側などの周辺地域、既存の
建築物や工作物等と調和のとれた色彩とし、けげばしくならないことをいう。